

Cisco SIP IP Phone のダイヤル トーン設定

内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[背景説明](#)

[設定](#)

[確認とトラブルシューティング](#)

概要

このドキュメントでは、Cisco Unified Communications Manager(CUCM)に登録されているCisco Session Initiation Protocol(SIP)IP Phoneのダイヤルトーン設定の動作について説明します。

著者：Cisco TACエンジニア、Ebrahim Riyaz Abdul NazirおよびDivjot Nanda

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- CUCM バージョン 11.5 以上
- SIP Phone 11.5以降

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づいています。

- Cisco CUCM 11.5
- Cisco 8841 SIP IP Phone with firmware 11.5

注：11.5ファームウェアが存在しないSIP電話機には、この機能に対して行われたコード変更はありません。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境のデバイスで作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、デフォルト設定になっています。対象のネットワークが実稼働中である場合には、どのようなコマンドについても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

背景説明

SIP電話機は、ダイヤルプランに基づいてダイヤルトーンを再生します。このダイヤルトーンは、既存のCUCMダイヤルトーンサービスパラメータである[常にダイヤルトーンを使用する設定]を使用しません。ただし、Skinny Call Control Protocol(SCCP)の場合、電話機は常にこのサービスパラメータに基づいてダイヤルトーンを再生します。

この機能により、SIP電話機に機能が追加され、SIPエンドポイントがサービスパラメータ設定に基づいてダイヤルトーンを再生できるようになります。

この機能は、ファームウェアバージョン11.5以上のSIP Phoneでサポートされています。この機能により、SIP電話機のTFTP設定ファイルに<dialToneSetting>タグが追加されました。電話機に表示されるこのタグは、CUCM設定ダイヤルトーンを電話機ユーザに再生するために使用されます。

機能の概要

1. Always Use Dial Tone Settingサービスパラメータは、エンドポイントに内部/外部またはデフォルトのダイヤルトーンを再生するように指示するために使用されます。

(2)ダイヤルトーンの解釈

I. デフォルト：外部ダイヤルトーンは、内部ダイヤルトーンと異なる場合があります。

II. INSIDE:オフネット宛てのコールでも、常に内部ダイヤルトーンを再生します（内部ダイヤルトーンと外部ダイヤルトーンは区別されません）。

III.Outside:オンネット宛てのコール（内部ダイヤルトーンと外部ダイヤルトーンの区別なし）でも、常に外部ダイヤルトーンを再生します。

3. SIPダイヤルルールの有無に関して予想されるSIP電話機の動作は次のとおりです。

SIPダイヤルルールが設定された電話機

サービスパラメータの設定	オフフックダイヤルトーン	外部ルーティング可能
デフォルト	INSIDE	OUTSIDE
INSIDE	INSIDE	INSIDE
OUTSIDE	OUTSIDE	OUTSIDE

SIPダイヤルルールのない電話機

サービスパラメータの設定	オフフックダイヤルトーン	外部ルーティング可能
デフォルト	INSIDE	OUTSIDE
INSIDE	INSIDE	(none)
OUTSIDE	OUTSIDE	OUTSIDE

4. サービスパラメータを変更するには、[Always Use Dial Tone Setting] > [System] > [Service Parameters] > [Service] > [CallManager] に移動します。これにより、CUCMはSIP Phones TFTP設定ファイルを再構築できます。変更が有効になるようにユーザがSIP Phoneをリセットします（このサービスパラメータ値の変更に関するポップアップによって指示されます）。

注：1.変更を有効にするには、SIP電話をリセットする必要があります。

2. SCCP電話機で変更を行い、リセットは不要です。

4.リセット後、SIP電話機のTFTPファイルに<dialToneSetting>タグが付き、値は1 ~ 3に設定されます。

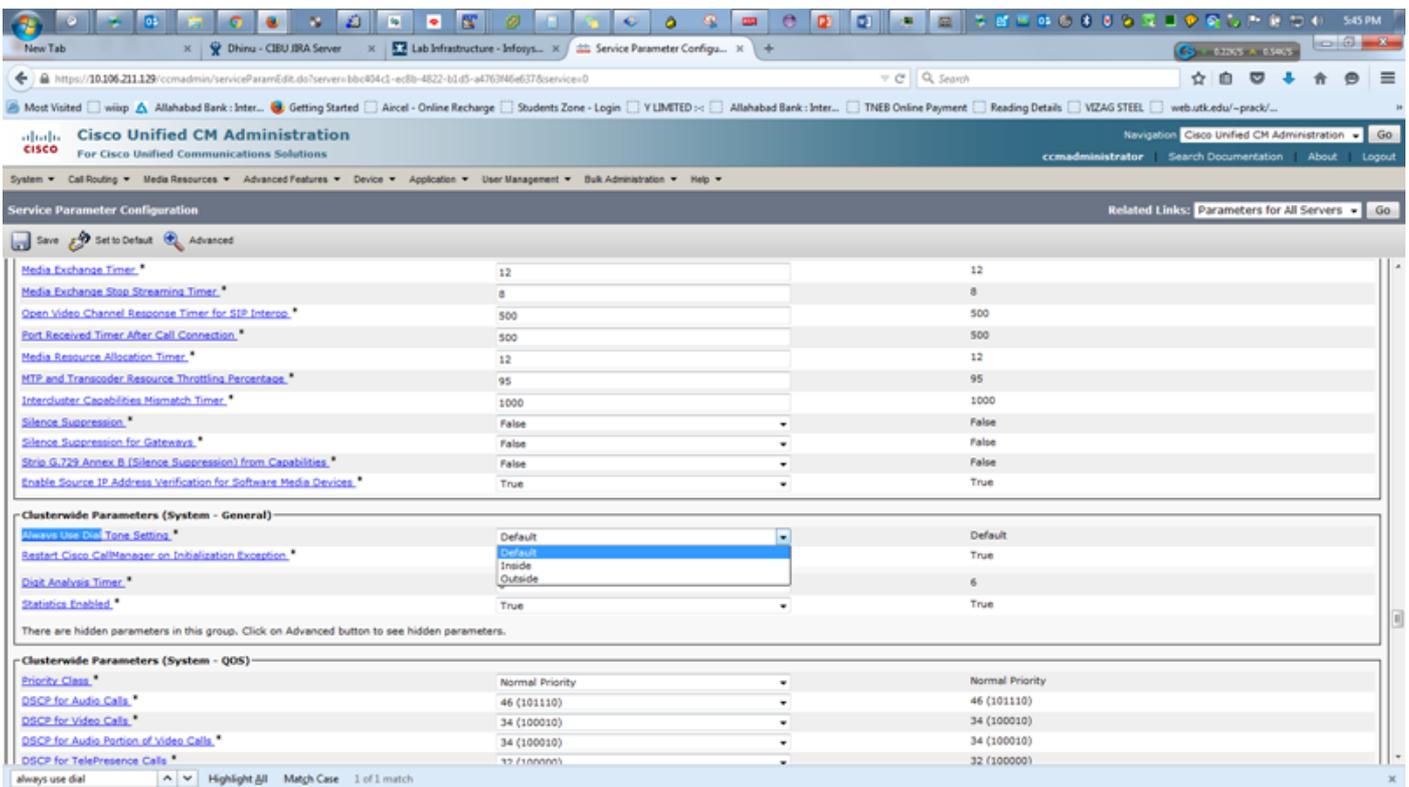
<dialToneSetting>1</dialToneSetting>または
<dialToneSetting>2</dialToneSetting>または
<dialToneSetting>3</dialToneSetting>

解釈

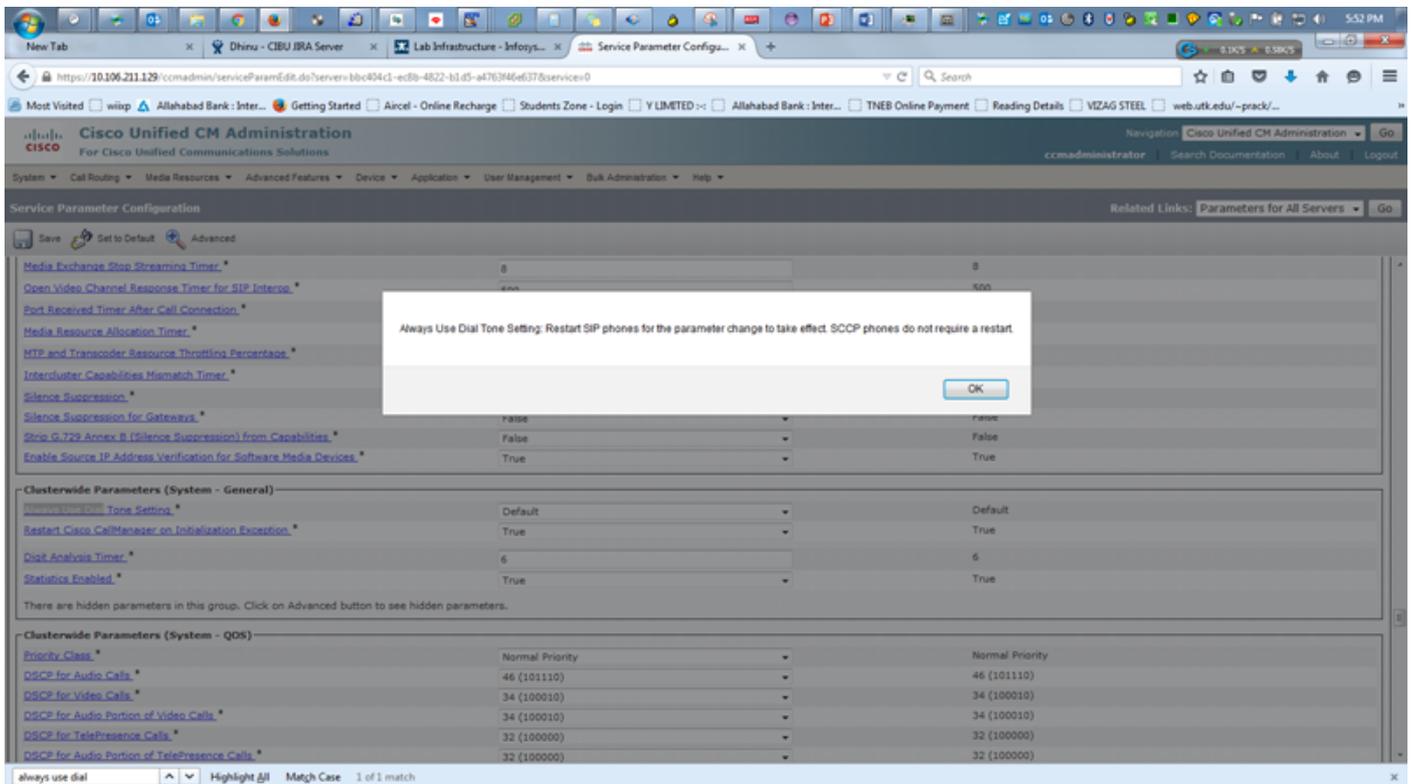
- 1 : デフォルト,
- 2 : [Always Play Inside Dial Tone]
- 3 : 常に外部ダイヤルトーンを再生

設定

[System] > [Service Parameter] > [Service] > [CallManager] > [Always Use dial tone Setting]に移動し、優先されるダイヤルトーン設定のタイプを選択します。



ダイヤルトーンの設定が変更されると、アラートメッセージが表示されます。このメッセージには、設定を有効にするためにSIP電話をリセットする必要があることが示されています。



確認とトラブルシューティング

1. SIP電話機のダイヤルトーンの問題を確認またはトラブルシューティングするには、SIP Phones TFTP設定ファイルの<dialtonetsetting>タグの値を確認します。
2. CUCMバージョン11.5以降のTFTP設定ファイルに<dialtonetsetting>タグが存在しない場合は、SIP Phoneファームウェアバージョンを11.5以降にチェックしてアップグレードします。

以下に、いくつかの例を示します。

A. CUCM 10.5に登録されている8841 SIP電話機の設定ファイルには、ダイヤルトーン設定パラメータが含まれていません。

```
<secureServicesURL>https://10.106.110.12:8443/ccmcip/getservicesmenu.jsp
<dscpForSCCPPhoneConfig>96</dscpForSCCPPhoneConfig>
<dscpForSCCPPhoneServices>0</dscpForSCCPPhoneServices> <dscpForCm2Dvce>96</dscpForCm2Dvce>
<transportLayerProtocol>3</transportLayerProtocol> <dndCallAlert>5</dndCallAlert>
<phonePersonalization>0</phonePersonalization> <rollover>0</rollover>
<singleButtonBarge>0</singleButtonBarge> <joinAcrossLines>0</joinAcrossLines>
```

B. CUCM 11.5の8841 SIP Phoneの設定ファイルには、値 (1、2または3) を持つダイヤルトーン設定に関する情報が含まれています。

```
<secureServicesURL>https://RZCUCM11:8443/ccmcip/getservicesmenu.jsp</secureServicesURL>
<dscpForSCCPPhoneConfig>96</dscpForSCCPPhoneConfig>
<dscpForSCCPPhoneServices>0</dscpForSCCPPhoneServices>
<dscpForCm2Dvce>96</dscpForCm2Dvce>
<transportLayerProtocol>4</transportLayerProtocol>
```

<dndCallAlert>5</dndCallAlert>
<phonePersonalization>0</phonePersonalization>
<rollover>0</rollover>
<singleButtonBarge>0</singleButtonBarge>
<joinAcrossLines>0</joinAcrossLines>